

令和4年11月25日実施

令和4年度全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会保護者中央研修会

相談役挨拶

皆さんこんにちは。全国特別支援学校肢体不自由教育校長会会長の伴 光明でございます。本日は令和4年度全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会保護者中央研修会が開催されるということで、オンラインではありますが、一言御挨拶を申し上げます。

御参加の皆様は、身体を動かすことの大切さを痛切に感じていらっしゃると思います。が、その視点は主にお子さんの身体に向けられていて、御自身のことは後回し、になっている方が多いのではないのでしょうか。お子さんの身体が大事なことは、一校の校長としても強く思うところではありますが、保護者の皆さんに、「お子さんのことはさておき、あなたも運動した方がよいですよ」とはなかなか言えません。今回、鈴木大輔様を講師にお迎えし、会員の皆さんが御自身の身体の動き、運動について実地に学んでいこうという研修の趣旨はたいへんよい着眼点だと思います。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さて、各学校で、SDG s を教育内容に取り入れています、これからは ESD です、と担任の先生や校長先生からお聞きになっている方も多いことでしょう。持続的、サステイナブルな開発のゴール・目標として、地球温暖化などの環境問題や、経済的な貧困の問題を解決しよう、と 17 の目標を掲げているのが SDG s です。その 3 番目の目標は「すべての人に健康と福祉を」です。



すべての人ですから、当然 PTA 会員の皆さんも含まれます。

SDG s って欲張りなんです。誰かのためではあるけれど、それは自分のためでもある。会員の皆さん方は日々、お子さんのために

本当に献身的に身体を酷使していらっしゃる。ですが、SDG s 的に言えば、子供のためにも、自分のためにも、と考えていただいてよいのだと思います。

この研修の趣旨を高く評価するのはこうした考えからのことです。どうぞ皆さん、存

分に学び、動いて、健康な生活をお送りください。そしてまた御一緒に、これからの子供たちの学びや生活について考えて行動してまいりましょう。私からのエールをお送りし、挨拶といたします。